

東大探訪を実施しました

去る8月6日（火）、7日（水）に2年生希望者を対象に、東大探訪を実施しました。

1日目（8／6・火） 於 東京大学 本郷キャンパス

- （1）清水久史先生（本校55回生 神奈川県立産業技術総合研究所マイクロ流体化学プラント開発プロジェクトサブリーダー）講義
- （2）本校OB・OGによる座談会・キャンパス案内



清水先生による講義



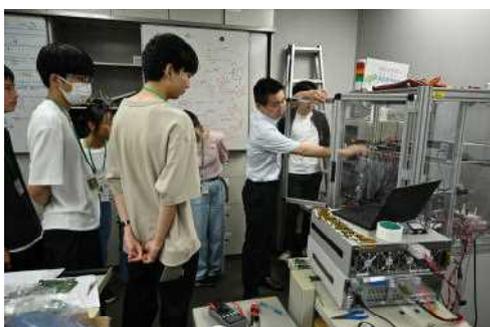
OB・OGによる座談会



本郷キャンパス 赤門で

2日目（8／7・水） 於 東京大学 駒場キャンパス

- （1）東京大学生産技術研究所訪問
(高宮真研究室:半導体 本間裕大研究室:建築学)
- （2）本校OBによる座談会・キャンパス案内



高宮真研究室



駒場キャンパス 1号館前で

生徒の感想（抜粋）

●清水先生の講義について

理学部ではなく工学部に応用化学科というような学科があることもそうですが、工学部の学科を一覧形式で紹介してもらったときあまりの分野の多様さに驚きました。ミクロの世界では私の知る化学はまるで通用しないようで反応にムラができなかつたり一瞬で混ざったり溶媒に溶かし温度を調節して抽出することで目的の物質を取り出したりということが出来る、さらにマイクロ化学チップのような小さな体積で効率よく並立させて化学プラントを作るなんてことができれば間違いなく実験から現場までの常識が覆され画期的な進歩を遂げるであろうことは確信できます。また姫路にダイセルのような工場があるとも知らず、今回の講義を聞いたことで認識もでき関心も高まったと思います。如何にも科学の進歩とイメージが結びつきやすく興味深い研究内容の講義で非常に面白かったです。また、研究者という職業についても詳しく説明をいただき、実態のわからない創造の中の職というイメージから理系に進んだ後の具体的な進路としての想像ができるようになりました。その後の個人的な質問や先輩方との座談会にて素朴な疑問にも回答してくださったこと、とても感謝しています。

●OB・OGとの交流について

とても明るい雰囲気先輩で、お話していてとても楽しかったです。主に学生生活のを中心に知ることができてよかったです。キャンパス案内のときも会話を大切になさっていて見知らぬ場所での緊張がほぐれました。

●東京大学生産技術研究所について

半導体の研究ということで、そういったものは工場や企業がやっているイメージだったので東大の研究室でチップを作っているというのは驚きましたが、回路を効率よく回すための電力供給技術を研究されているということだったので納得しました。実際に組み立てる前の半導体のサーキットやパワーデバイスを見せてもらえて新鮮でした。12月に台湾研修に行く予定で、TSMCのミュージアムのようなところを見学すると聞いているので、考案したチップの製造はTSMCに依頼していると聞き興味が高まりました。最後に実験を実際に見せていただき、効率の改善が数字で見えたりサーモグラフィで熱の上昇がわかたりしてとても実感が湧き面白かったです。トヨタとの共同研究の内容も楽しみです。

●全般について

新鮮な出来事が多すぎて、驚きと興奮の2日間でした。最初は東大探訪に行くか迷ってましたが、普段経験できないことが経験できて、行って良かった、と今は心から思っています。興味を持ったものは本当に沢山あるのですが、先生たちの研究内容や研究室を見て、自分も研究をしてみたいと思いました。同じ事柄を研究する仲間と共に切磋琢磨しあって、成果を作り上げることに少し憧れを抱きました。それが私にとってこの2日間の1番の興味関心だと思います。今後の抱負については、自分が目指すものに辿り着くことです。今現在で具体的に表すなら、志望校に合格することです。まだまだ、辿り着いてはいませんが、今回の経験を生かして目標に辿り着けるように頑張っていきたいです。